

朝日カルチャーセンター新宿教室 2017年6月25日

「三国志」の名場面3 「空城の計 諸葛孔明の心理戦」加藤 徹
<http://www.geocities.jp/cato1963/sangokushu20160704.html>

★吉川英治の小説『三国志』五丈原の巻「高楼弹琴」より

この小城、この寡兵（かへい）。

いかに防げばとて、戦えばとて、眼にあまる魏の大軍に対しては、海嘯（つなみ）の前の土塀ほどな支えもおぼつかない。

孔明は櫓の高楼から身を臨ませて、喪心狼狽、墓場の風のごとく去喪している城兵に向って、こう凜と、命を下した。

「四門を開けよ。開け放て。――門々には、水を打ち、箒かがりを明々あかあかと焚き、貴人を迎えるごとく清掃せよ」

そしてまた、いちだん声たかく、

「みだりに立騒ぐ者は斬らん。整々肅々、旗をそろえよ。部署部署、旗の下をうごくなかれ。静かなること林のごとくあれ。――門ごとの守りの兵は、わけて長閑（のどか）に団欒（まどい）して、敵近づくも居眠るがごとくしてあれ」（中略）

はやくも、ひたひたと襲よせてきた魏の先陣は、遠くこれを望見して、怪しみ疑い、直ちに、中軍の司馬懿（しばい）に様子を訴えた。

「なに。琴を弾ひいている？」

仲達は信じなかった。

自身、馬をとばして、先陣へ臨み、近々と城の下まで来て眺めた。

「おお。……諸葛亮（しよかつりょう）」

仰ぐと、高楼の一層、月あかるき処、香（こう）を燻（た）き、琴を調べ、従容（しようよう）として、独り笑（え）めるかのような人影がある。まさに孔明その人にちがいない。

http://www.aozora.gr.jp/cards/001562/files/52419_51070.html

★大辞林 第三版の解説

はくび【白眉】①白いまゆげ。②「三国志蜀書馬良伝」による。蜀の馬良が、五人の兄弟の中で最も優秀で、その眉に白毛があった

ことから」兄弟中で最も優れている者。また、衆人の中で最も傑出した者、同類中で特に優れているもの。「歴史小説の―」

ばしよく【馬謖】(190～228) 中国、三国時代の蜀の武将。字は幼常。雲南討伐に活躍、諸葛亮の信任をうけ参軍となる。街亭の戦いで命令に背いて戦略を誤り魏軍に大敗したため、軍律により亮は泣いて馬謖を斬ったという。↓泣いて馬謖を斬る(「泣く」の句項目)

ないてばしよくをきる【泣いて馬謖を斬る】

〔三国志 蜀書、諸葛亮伝・馬謖伝〕情として処分するに惜しい人物であつても、違反があつたときには全体の統制を保つために処分する。↓馬謖

★兵法三十六計

勝戦計

瞒天過海 困魏救趙 借刀殺人 以逸待勞 趁火打劫 声東擊西

敵戦計

無中生有 暗渡陳倉 隔岸觀火 笑裏藏刀 李代桃僵 順手牽羊

攻戦計

打草驚蛇 借屍還魂 調虎離山 欲擒姑縱 拋磚引玉 擒賊擒王

混戦計

釜底抽薪 混水摸魚 金蟬脱殻 関門捉賊 遠交近攻 仮道伐虢

併戦計

偷梁換柱 指桑罵槐 仮痴不癲 上屋抽梯 樹上開花 反客為主

敗戦計

美人計 空城計 反間計 苦肉計 連環計 走為上

参考 <http://www.geocities.jp/cato1963/xxx-heihou36.html>

★世界大百科事典 第2版の解説

くうじょうけい【空城計 Kōng chéng jì】

中国、京劇の演目。《三国演義》にもとづく。蜀将・馬謖(ばし

よく)は諸葛孔明の命を聞かず、魏将・司馬懿(しばい)に敗れて街亭を失う。孔明はその報せに驚いたが、司馬懿の軍勢は早や西城に迫った。窮余の一策、四面の城門を開き、城楼に上って酒を酌み、静かに琴をかき鳴らす。司馬懿は伏兵あるとみて退却するが、空城の計と知って再び攻め寄せれば、すでに趙雲の援軍がおり、また戦わずして退く。この弹琴の場は京劇中名場面として名高い。

★出典

「空城の計」の故事は、古典小説『三国志演義』の名場面だが、正史『三国志』蜀書・諸葛亮伝の本文には見えず、裴松之の注に引く郭沖の「条亮五事」の三番目の記述にそれらしき逸話を載せる。ただし裴松之は当時の情勢から見て「この話はありません」と否定している。また郭沖の記述では、「泣いて馬謖を斬る」とは無関係である。

【要旨】諸葛孔明は陽平に駐屯した。孔明は、武将の魏延を先鋒として大軍を与え、手元には一万の兵しか残さなかった。魏の司馬懿が二十万の大軍で攻めてきた。蜀の援軍は間に合わず、将兵は恐れた。孔明は平然として、城兵に「息をひそめ、城門を大きくあけはなち、道も掃除しておけ」と命じた。それを見た司馬懿は、てつきり孔明は伏兵を用意して自分を場内に誘い込もうとしているのだと思ひ、攻めずに撤退した。この心理作戦の成功後、孔明は司馬懿のことを笑った。司馬懿は後に真相を知り、おおいに悔しがった。

【原文】郭沖三事曰…亮屯于陽平、遣魏延諸軍並兵東下、亮惟留萬人守城。晉宣帝率二十萬眾拒亮、而與延軍錯道、徑至前、當亮六十里所、偵候白宣帝說亮在城中兵少力弱。亮亦知宣帝垂至、已與相逼、欲前赴延軍、相去又遠、回跡反追、勢不相及、將士失色、莫知其計。亮意氣自若、敕軍中皆臥旗息鼓、不得妄出菴幔、又令大開四城門、埽地卻洒。宣帝常謂亮持重、而猥見勢弱、疑其有伏兵、於是引軍北趣山。明日食時、亮謂參佐拊手大笑曰「司馬懿必謂吾怯、將有疆伏、循山走矣。」候邏還白、如亮所言。宣帝後知、深以為恨。

★京劇『失空斬』

「失街亭」「空城計」「斬馬謖」の三演目の総称。

京劇『空城計』 1962年録音（中国唱片）

諸葛亮（諸葛孔明）：馬連良

司馬懿：裘盛戎

司馬懿（幕内で唱う）【西皮導板】

大隊人馬往西城。

（魏軍。龍套が四人、司馬懿、司馬師、司馬昭が登場）

司馬懿（唱）【西皮搖板】

為何大開兩扇門？

司馬懿（白）且住。

適纔探馬報道、西城乃是空城。

老夫大兵到此、為何城門大開？

咦、看諸葛亮又在那裏弄鬼。 ※弄鬼＝詭計を弄す

不要中了他人之計。老夫先傳一令。

衆將官！

（魏軍の將兵たちが答える）有。

（白）聽我令下。【西皮快板】

坐立雕鞍馬、傳將令、

大小兒郎聽分明。

哪一個大胆把西城進、

我定斬人頭不徇情。

諸葛亮（唱）【西皮三眼】

我本是臥龍崗散淡的人、

憑陰陽如反掌博古通今。

先帝爺下南陽御駕三請、

※「評陰陽」とも。

※先帝＝劉備を指す。

料_レ定_リ了_リ漢家の業_ヲ鼎足三分_ス。
 官_ハ封_レ到_リ武郷侯_ニ執_ス掌帥_ノ印_ヲ、
 東西_ニ征_シ南北_ニ勦_シ保_チ定_ム乾坤_ヲ。
 周_ノ文王_ヲ訪_ネ姜尚_ヲ周室_大振_フ、
 俺_{われ}諸葛_怎比_レ得_シ前輩_ノ先生_ニ。
 閑_ニ無_レ事_ニ在_リ敵_ニ樓_ニ我_レ亮_一亮_一琴_ノ音_ヲ、
 (諸葛亮、城壁のうえで琴を弾く。続けて唱う) ※敵楼 || 城壁上の
 防御建築

【西皮原板】

我_ガ面_ニ前_ニ缺_ニ少_一個_ノ知_音的_ノ人_ヲ。

司馬懿(唱) 【西皮原板】

有_リ本_ニ督_ニ在_リ馬_上用_レ目_ヲ觀_定、
 諸葛亮_在城_ニ樓_ニ飲_レ酒_ヲ撫_レ琴_ヲ。
 左右_{ナル}那_ノ琴_童人_ニ兩_ノ個_ヲ、
 打_ニ掃_ス街_道俱_ニ都_レ是_レ那_ノ老_弱殘_兵。

我_{ヨリ}本_{ヨリ}當_下領_シ人_馬殺_進城_ニ、
 (魏軍の吶喊) 殺_{サツ}！ 殺_{サツ}！
 ※殺 || 突撃する

(蜀軍の老兵たち) 来_{おいで}呀_で、来_{おいで}呀_で。

司馬懿(白)殺不得！(唱)

又_レ恐_レ怕_ハ中_ニ了_ト巧_ノ計_ヲ行_ヒ。
 勒_シ住_マ頭_ヲ把_を話_論、
 尊_き声_よ諸_葛聽_ク分_明。
 任_た你_{なれ}設_下那_千般_ノ計_ヲ、
 棋_逢对_手一_般平_ヲ。

諸葛亮(唱) 【西皮二六】

我_ニ正_ニ在_リ城_ニ樓_ニ觀_ル山_景、
 耳_ニ聽_キ得_{タリ}城_外乱_紛紛_ヲ。
 旌_旗招_展空_翻影_ヲ、



却原来是司馬發来的兵。

※原来||元来

我也曾差人去打聽、

打聽得司馬領兵就往西行。

亦非是馬謖無謀，少才能、

皆因是將帥不和，才失街亭。

你連得三城，多僥幸、

貪而無厭，你又奪我的西城。

諸葛在敵樓把駕等、

等侯了司馬到此，談哪、談、談談心。

命人把街道打掃淨、

等侯司馬好屯兵。

諸葛亮我並無有別的敬、

早預備下羊羔美酒，犒賞你的三軍。

到此就該把城進、

為什麼在城外猶豫不定、

進退兩難、為的是何情？

只有我的琴童人兩個、

我是又無有埋伏，又無有兵。

你不要胡思亂想，心不定、

你就來來來，請上城來、

聽我撫琴。

司馬懿（唱）【西皮原板】

左思右想，心不定、

城內定有埋伏兵。

参照

<http://www.geocities.jp/cato1963/20160730.html>